

JCR、国際資本市場協会のサステナブルファイナンスに関する アドバイザリー・カウンシルメンバーに選出

株式会社日本格付研究所（JCR）は、2026年の国際資本市場協会（ICMA）のサステナブルファイナンスに関するアドバイザリー・カウンシルメンバーとして2年連続で選出されたことをお知らせします。

ICMAは、国際債券市場における自主規制団体であり、2026年現在、71の国・地域において、630を超える団体がメンバーとして参加しています。参加団体は、民間・公的発行体、銀行、証券会社、アセット・ファンドマネージャー、保険会社、法律事務所、資本市場インフラ運営者や中央銀行などに及びます。

サステナブルファイナンス分野においては、グリーン/ソーシャルボンド原則の制定やサステナビリティボンドに関するガイドライン、クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック、クライメート・トランジション・ボンドガイドラインの制定などを行い、サステナブルファイナンスに関する世界的なルール作りを主導し、サステナブルファイナンスの取り組みの推進を行っています。

JCRは、2017年にグリーンファイナンスに関する評価業務を開始して以降、グリーン/ソーシャルをはじめとして数多くの評価/第三者意見の提供を行ってまいりました。2020年には国内で初めてのサステナビリティ・リンク・ボンドの第三者意見の提供、2021年には世界初のトランジションファイナンス（ローン）評価を実施し、2023年からは、日本国の脱炭素成長型経済構造移行債（GX経済移行債）のフレームワーク評価及び個別債券評価を提供し、サステナブルファイナンスをめぐる国際的な動きを踏まえ、国内外においてサステナブルファイナンスの評価を推進・拡大してまいりました。

また、2025年11月に公表されたICMAのクライメート・トランジション・ボンドガイドラインにおいては、日本の豊富なトランジションファイナンスの実績および評価業務における経験を踏まえた意見表明を行うなど、日本の実例を踏まえたトランジションボンドのガイドライン策定に尽力してまいりました。アドバイザリー・カウンシルメンバーとして、日本のサステナブルファイナンスの現状を発信するとともに、原則類の策定や改訂に際しても日本の実情も踏まえた内容となるべく取り組んでまいります。

JCRは、今後もサステナブルファイナンス評価業務や国際的組織への参画を通じて、国内外の皆様のサステナブルへのお取り組みへの貢献や、最新の知見のご提供等を行ってまいります。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社 日本格付研究所
サステナブル・ファイナンス評価本部 評価部
TEL：03-3544-7016（担当：菊池・梶原）

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル